資料2

議題2：広報紙の配布方法について（豊明市提出）

市名		各市の状況		
		（1）費用について	（2）業者の有無について	（3）配布日数について
1	名古屋市	通達員（非常勤職員）が全戸配布。広報紙以外の市からの配布物もあるため、広報紙分の金額は算出不可	把握していない	毎月10日までに配布するよう依頼（発行は毎月1日）
2	豊橋市	配送業者による自治会への配送費は印刷製本費に含まれている （例）40ページの場合、1部22.6円	郵便局や新聞販売店、シルバー人材センターなどが考えられるが、自治会との関係から受託しないと思われる	自治会には発行日の2～3日前に配送しているが、その後の配送方法は自治会ごとに違いがあり、いつまでにという明確な定めはない。
3	岡崎市	H30予算　配布委託料13,951千円	不明	1日
4	一宮市	全戸配布ではなく、町内会長等へ広報紙を配送している。		
5	瀬戸市	広報配達員43名（平成30年4月1日現在）への委託料…月額約200万円（合計） 広報配達員宅へ広報を配送する業者への委託料…月額約7万円	各戸への配布は市と直接契約した広報配達員が行うため、全戸配布に対応可能な業者の有無については把握していません。	原則5日間
6	半田市	5，015，300円 なお、当市では市から自治区への配布費用として、別途1，251，936円も計上している。	調査していません。 当市も自治区に対して全戸配布をお願いしていますが、自治区未加入世帯については届いていない場合もある。	3日～5日程度
7	春日井市	0円　※市職員が各町内会の配布担当に配布し、配布担当が組長などに分け、各世帯に配布。		
8	豊川市	市から各町内会長へ配付するシルバー人材センターへの委託（広報紙以外の配布物を含む） （1,863,444円／年）	なし	1日（シルバー人材センターから各町内会長に配布する日数）。町内会長から、各世帯への配布については、1～7日程度。
9	津島市	平成29年度実績　12,161,672円 （配布物の重さや数によって、毎月金額は異なる）	あり	月末から数えて5日間（日曜・祝日は除く）
10	碧南市	単価：152円／月（月2回のため76円／回） 世帯数：28,357世帯（H30.3.31現在） 28,357世帯×152円×12月＝51,723,168円 ※実際は町内会をい通じ、町内会加入世帯分を委託料として支払っている。 →町内会加入世帯20,871世帯×152円×12月＝38,068,704円	不明	3日
11	刈谷市	（平成30年度予算） 仕分け業務委託　482,880円 各地区への配送業務委託　2,993,760円 地域行政事務委託料　8,538万5千円 （広報紙の配布以外の地域行政事務も含む）	業者への全戸配布委託はしておりません。	業者への全戸配布委託はしておりません。
12	豊田市	自治区への交付金として約7，700万円	山間地等の人口の少ない地域まで対応可能な業者は無し	自治区が配布に要する日数は4日

市名		各市の状況		
		(1)費用について	(2)業者の有無について	(3)配布日数について
13	安城市	広報1通につき12円。市からの文書を配布する「行政連絡員」(市内79人)で配布。記載の単価は歩合給で他に基本給があるため、広報配布のみにかかる経費は算出していない。 【平成30年5月1日号】 73,216部×12円≒880,000円		
14	西尾市	町内会に配布を委託 町内会長事務委託料:44,672,640円(広報紙配布以外の業務も含む) ※上記のほか、以下の費用も有り 託送物仕分け業務委託料:3,989,660円(広報紙以外も含む)…町内会ごとの仕分けと郵便局への配送を業者に委託 郵送料:総務課で一括支払いのため広報紙分のみの金額は把握していない	現在、業者を利用していない。	10日以内
15	蒲郡市	各総代会長宅までは配送業者へ委託(約81万円)。その後各世帯への配布については、総代連合会へ広報配布他、防災、ゴミ、その他調整等を含め一式で約6，300万円の委託契約をしている。	主要新聞の配達業者が1社	現状配布でおよそ10日程度
16	犬山市	広報犬山は市から町会長へ配達し、町内会を通じて加入世帯へ配布を行っている。 町会長への配達は、広報のほかに町内会への回覧文書なども含まれており、シルバー人材センターへ委託している。 費用は次のとおりだが、広報の配達以外にも広報納品後の積み込み作業や配達ルート選定のための下見、各出張所への行政文書の配達などの業務も含んだ費用となっている。配達を行う際の車両は市の公用車を用い、燃料費などは含まれていない。 H30予算額:4,270,000円 積算設定額 平成30年度シルバー人材センター労務単価(行政文書配達) 8,557円(全日)、4,536円(半日) 全日:8,557円×77日(年間)×4人＝2,635,556円 半日:4,536円×90日(年間)×4人＝1,632,960円 計:4,268,516円 なお、町会長から各町内会への広報配布については別途委託としており、広報配布以外の町会長業務も含めた委託料を計上している。	なし 新聞配達業者などのポスティング業者はあるが、こちらが希望する配布日数や金額での対応は現状難しいと思われる。	シルバー人材センターによる町会長への配達期間:2日間 4人(2人1組)、車両2台
17	常滑市	4,246,889円(平成29年度決算) 4,641,720円(平成30年度予算)	全戸配布委託をしていません。	全戸配布委託をしていません。
18	江南市	市が愛知県シルバー人材センターと労働者派遣基本契約及び労働者派遣個別契約を締結(予算年額約53万円)し、派遣員が各町内会長等宅へ広報紙等を配送。	なし	1週間程度
19	小牧市	広報紙は、印刷業者が各区の指定した場所へ納品し、その後各区の広報配達員から各世帯へ配布されている。印刷と各区への配送も含めた総額で契約しているため、区への広報配布に関する費用の算出は難しい。区から各世帯への配布費用に関しては、広報以外の市発行の配布物の配布費用も含めて、区に対し年間で世帯数×850円を支払っている。 小牧市も豊明市と同様に、区への未加入世帯には配布していない。		
20	稲沢市	以下、豊明市さんと同様の状況にあります。 月額136，320円	シルバー人材センター	3日(313行政区)

市名		各市の状況		
		(1)費用について	(2)業者の有無について	(3)配布日数について
21	新城市	本市においては、広報誌(広報しんしろ「ほのか」)に加え、各部署からの個別の文書を各部署が情報発信方法(全戸配布、回覧又は行政区長個人宛)を指定して行政区長に届けており、それらの文書を行政区長を含む地区の役員が、各部署が指定する情報発信方法に合わせて対応することにより、市民への情報提供を行っている。 各行政区に文書を届ける方法としては、公益社団法人新城市シルバー人材センターから派遣されてきたシルバー会員が、各行政区が指定する場所(行政区長の自宅、公民館等)を回る方法を採用しており、回数としては月に2回実施している(広報誌については、月の後半に全戸配布している。)。 平成30年度の文書配布業務委託料(シルバー会員の派遣に対する料金)の予算額は、93万4,000円である。	ポスティングによる各家庭(町内会未加入世帯を含む。)に対する全戸配布ができる事業者の有無という意味では、選挙公報を配布する際にそのような方法を採用しており、対応可能な事業者としてはいるということができる。 しかし、本市においては、毎回10種類前後の文書を各行政区長に届け、また、情報発信方法(全戸配布、回覧又は行政区長個人宛)も文書により異なることから、各家庭へのポスティングという選択肢はない。	各家庭への配布に要する日数は、行政区又はその内部組織ごとで異なることとなるため、一律ではない。 質問の意図が、市から配布する回数ということであれば、月に2回である。
22	東海市	委託料 26,760,000円(平成30年度予算額)	市内を72区に分け、20区分を限度にシルバー人材センターへ委託している。区分の増加については今後調整を行なう予定。	3日間
23	大府市	19,776,174円	あり	4～6日
24	知多市	12,826千円(30年度予算額)	あり(公益社団法人 シルバー人材センターに委託)	指定日から3日間
25	知立市	行政連絡員による配布にて実施。行政連絡員(別紙) 1件:10円(別途担当地区ごとに世帯割・面積割の基本給等あり)	配布を業者委託していないため特に把握しておりません。	原則3日以内で配布。 (納品されてから発行日(毎月1日又は16日)までに配布)
26	尾張旭市	約21,200,000円／年 ＜内訳＞ ●広報配達員分 46円×23,900世帯×12月＝13,192,800円 ●シルバー人材センター分 23円×12,000世帯×1.08×24回＝7,153,920円 ●宅配業者分 (広報配布分) 14,400円×1.08×24回＝373,248円 (チラシ配布分) 1,833円×1.08×80種類＝158,371円	(公益社団法人)シルバー人材センター	1号当たり約7日間
27	高浜市	☆前提として、全戸配布は行っておらず、町内会を経由して配布している。 ⇒配布経路:市→配達業者→町内会理事→町内会員。 広報等配達1個口あたり 400円(消費税除く) ※配達箇所数 126ヶ所(146個口)	入札業者 ①高浜共立運輸株式会社 (30年度落札業者) ②㈱中日総合サービス ③佐川急便㈱	1日(広報発行の翌日には町内会理事宅に配布) →理事宅から班長を経由し各戸に届く日数は不明。
28	岩倉市	配達員の報酬 ・戸建住宅:1部18円 ・集合住宅:1部12円 ・同時配布物が3種類以上ある場合は、3種類以上の部分について1部あたり1円を追加して支払う。	あり	広報発行日の4日前に納品してもらい、発行日までに配布してもらう。(4日前が土・日曜日・祝日の場合はその前の平日)
29	豊明市	現状:各町内会長等への配送を業者へ委託(月額約10万円)	現状:区長(町内会長)へ依頼 過去に調査した際には費用に見合う業者が見つからなかった 全戸配布実施自治体の状況を参考にさせていただきたい	各家庭への配布に要する日数は、行政区又はその内部組織ごとで異なることとなるため、一律ではない。 質問の意図が、市から配布する回数ということであれば、月に2回である。

市名		各市の状況		
		(1)費用について	(2)業者の有無について	(3)配布日数について
30	日進市	約1,200万円 ※年間延べ約45万部配達 ※広報紙の他、同時配達した市のチラシなどの配達費用も含む	本市はシルバー人材センターに依託しているため、対応可能な業者があるかは不明ですが、宅配業者や新聞配達業者などが対応できるかと思う。	納品日からおよそ3平日以内で配達。1日号なので前月末日までには対象世帯に配布できるようにしている。
31	田原市	印刷業者との契約時に各配布箇所(校区市民館)も含めた契約を行っているので算出不可		
32	愛西市	シルバー人材センターへ委託し、各町内会長等へ配布 (年間委託費　1,198,603円) (全戸配布の経費は不詳)	有あり (詳細は不明だが、中日ホームサービスで対応が可能であることは承知している。)	不明
33	清須市	平成30年度当初予算　16,472千円	市内に居住する住民と事業所を対象とし、住民登録の有無にかかわらず全戸配布するため、ポスティングシステムによる業者委託を行っている。なお、広報紙及び市のチラシ類を袋に封入し、3日間で市内全世帯及び事業所へ配布するという特殊な業務であるため、この内容にて履行可能な中日新聞の折込配達業者と随意契約をしている。	3日以内。ただし、その日が祝日及び日曜日にあたるときは、その日を除く。
34	北名古屋市	配布費用:12,290,875円(平成29年度) 本市では、毎月1日付けで広報紙を発行し、配布をシルバー人材センターに委託し、同センターに登録する配達員が市内全戸・全事業所へ配布している。世帯数の増加に伴い、配布部数も年々増加が続く。	現在委託しているシルバー人材センターの他には、市内の新聞販売店やフリーペーパーのポスティング業者が考えられる。	原則として4日 毎月1日付けで発行としているため、その3日前(土・日・祝除く)にシルバー人材センターに納品され配布される。
35	弥富市	広報等の配布の流れ 市 ⇒ 区長補助員(自治会長) ⇒ 班長 ⇒ 各世帯 ◆市から区長補助員宅への業者による配達に係る手数料 (136名に月2回配達) 年間 約42万円 ◆各区長補助員への報償費(地域の取りまとめ、広報等配布) 基本額50,000円に1世帯につき500円を加算した額		
36	みよし市	・シルバー人材センターから各行政区への配布 平成28年度実績:505,440円(24回) ・各区へは一括交付金として支出 交付基準の中に、印刷物配布事業として「「広報みよし」配布部数×20円×24回」※配布部数は、前年度1月1日号配布部数として定めている。	現在、検討をしていないため不明である。	シルバー人材センターへ納品し、当日中に各行政区へ配布。ただし、各行政区毎からの配布は任せているため、正確な日数は不明。
37	あま市	17,612,250円(平成28年度)	あり	あま市の指定する配布開始日から4日以内
38	長久手市	本市では、広報配達員とシルバー人材センターにより全戸配布を行っている。 H28年度実績　7,047,400円(配達員6,786,400円　シルバー261,000円)	あり(シルバー人材センター、中日新聞販売店)	概ね5日